



2025年11月7日

各 位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名 株式会社IPS
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号: 4390 東証プライム)
問合せ先 管理部長 赤津 博康
(TEL. 03-3549-7719)

第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

2025年5月9日に公表しました2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,200	百万円 2,000	百万円 1,800	百万円 900	円 銭 69.43
実績値（B）	7,854	2,351	2,314	1,607	123.95
増減額（B-A）	△345	351	514	707	—
増減率（%）	△4.2	17.6	28.6	78.6	—
（ご参考） 2025年3月期中間期実績	7,744	2,339	1,588	961	74.62

2. 差異の理由

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）は、国際通信事業において、通信機器販売を伴うネットワーク構築サービスによる収益が前年同期をやや下回ったことなどから、売上高は前回予想を下回りました。一方、通信回線の大口・小口の容量提供や、国内通信事業における主力のコールセンターソリューションを中心とした堅調な事業環境などから、営業利益は前回予想を上回りました。

これに加えて、期末為替レートが円安となったことなどにより、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価替えに伴い、営業外収益（為替差益）を計上した結果、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益についても、前回予想を上回りました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績は、セグメント間では事業の進捗に差異があるものの、全体としてはおおむね計画どおりに推移しておりますので、2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した数値に変更はありません。

以上